



中建環 第212号
平成27年 3月18日

座間市長 遠藤 三紀夫 様

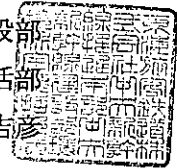
東海旅客鉄道株式会社

中央新幹線推進本部

中央新幹線建設部

環境保全統括部

部長 内田 吉彦



中央新幹線（品川・名古屋間）の建設にかかわる地下水対策検討委員会の設立について
（回答）

中央新幹線（品川・名古屋間）の環境影響評価においては、事業による地下水への影響は地下駅のごく近傍に留まると予測・評価しており、計画路線から約10km離れた座間市への影響はないものと考えております。今後は、評価書に記載のとおり、非常口（都市部）付近、および地下駅（神奈川県駅）付近にてモニタリングを実施し、継続的に影響を確認していくことにより、座間市域への影響についても把握することができるものと考えています。このモニタリングにつきましては、環境管理を適切に行うため事業者が自主的に行うものであり、事業者の責任で計画・実施し、結果を公表いたします。

モニタリングの調査地点、測定方法、時期・頻度などの内容については、今後、工事計画や施設計画を詳細に進めていく過程で、学識経験者等に意見を頂きながら検討し、工事着手前に貴市に対して説明いたします。

また、モニタリング結果については公表を行うほか、貴市に報告するとともに、必要が生じた場合には、相模原市、座間市（以下「両市」。）から情報提供をいただき、両市で実施している地下水調査の結果についても検討し、工事による地下水への影響を確認しながら工事を進めていくことを考えております。